

J-TREC ダイバーシティ宣言

J-TREC では、誰もが活躍できる会社に向けて、まずは性別の観点から男女共同参画をダイバーシティ（多様性）推進のファーストステップと位置付け、2015年度より取り組みを進めてきました。

今年度スタートした中期経営計画「TEAM J-TREC 2021」においても、組織力強化のための社風改革のひとつとしてダイバーシティ推進を掲げ、従業員の多様な個性を尊重し、「違い」を認めて仕事に活かすことで、組織の多様性につなげ、企業としての強みにしていきたいと考えています。

また、JR 東日本グループの「法令遵守及び企業倫理に関する指針」の「6. 人権尊重」においても、個人の多様性や人格、個性を尊重することが定められています。パワー・ハラスメントやセクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメントを防止するほか、性的少数者（LGBT※）に対する偏見、差別的言動をなくし、J-TREC で働く全ての従業員にとって安心・安全で働きやすいよう環境づくりに努めていかなければなりません。

今後は、年齢、国籍、障害の有無、性的指向・性自認など、性別以外の多様性についても視野を広げ、従業員一人ひとりが働きがいを持って能力を最大限発揮できるようダイバーシティの推進に取り組むことを宣言します。

2019年11月1日

株式会社 総合車両製作所

代表取締役社長 西山隆雄

※ L=レズビアン（女性の同性愛者）、G=ゲイ（男性の同性愛者）、B=バイセクシュアル（両性愛者）、T=トランスジェンダー（身体の性と心の性が一致しない人）の頭文字をとったもので、性的指向（恋愛・性愛がどういう対象に向かうか）や性自認（自分の性をどのように認識しているか）に関して少数派である人々を総称する言葉の一つとして使われています。